

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

◇「話すこと・聞くこと」や「読むこと」に係る出題において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えたり、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約したものを選択したりすることについて、よくできている。

◆「書くこと」や「読むこと」に係る出題において、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめたり、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

○敬語については、日常生活の中で、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れることができるよう、話したり聞いたりする活動の中で敬語の使い方について指導しつつ、学校行事や来客など具体的な場面で敬語の使い方を確認したりするなど指導すると効果的である。

情報の扱い方に関する事項

○情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解するために、情報と情報との関係を捉えながら、語句を丸や四角で囲んだり、線でつないだりするなどの活動を「読むこと」の指導事項に関連させつつ、教科等横断的に取り入れる。様々な情報の整理の仕方を提示した上で、児童が目的に合った方法を選ぶことができるようにすると効果的である。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

○話を聞いて自分の考えをまとめるためには、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる活動を教科等横断的に取り入れるとよい。このとき、話し手と聞き手それぞれの目的や意図を明確にし、それぞれの考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめることを指導すると効果的である。

書くこと

○自分の考えを分かりやすく伝えるには、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫することが大切である。図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を意図的に取り上げ、図表やグラフなどを用いることで自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できるように指導すると効果的である。また、その際の文章表現にも着目させ、自分の考えを伝える際の表現に生かすよう指導するとよい。

読むこと

○文章を読んで自分の考えをまとめるためには、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既存の知識などと結び付けて自分の考えを形成することが重要である。今回のような、複数の資料を読んで理解したことを整理したり、理解したことの中から既存の知識や自分の経験、生活に結び付けたりして、自分の考えをまとめることに課題があるため、こうした学習活動を国語科だけでなく教科等横断的に取り入れていくとよい。また、考えをまとめる際には、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の「思考に関わる語句」を使うことなどに関連を図り、理解したことと考えたことの関係が分かるようにまとめることを指導すると効果的である。

